

会派視察研修計画書

平成29年9月27日

碧南市議会議長 様

会派名 新政会

代表者名 神谷 悟 印

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	神谷 悟 ・ 杉浦 文俊	
日 時	平成29年11月15日（水）～平成29年11月16日（木）	
視 察 先	兵庫県姫路市	
研修内容	第12回全国市議会議長会研究フォーラム	
日 程	11月15日（水） 13：00～ 第1部 基調講演 14：40～ 第2部 パネルディスカッション 18：00～ 第3部 意見交換会 11月16日（木） 9：00～ 第4部 課題討議 11：30～ 第5部 視察「観光及び防災に関する広域連携事例」	
交通手段	公共交通機関利用 乗降車駅名（ 碧南中央駅 ）	自家用車利用 台 所有者名（ ）

会派視察研修報告書

平成29年 11月 28日

碧南市議会議長 様

会派名 市民クラブ

代表者名 神谷 悟

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 2 分の視察研修報告書を添付いたします。

参加議員	神谷 悟 ・ 杉浦 文俊
日 時	平成29年 11月 15日（水）～平成29年 11月 16日（木）
視 察 先	兵庫県姫路市 （全国市議会議長会研修フォーラム）
研 修 内 容	全国市議会議長会研修フォーラム
日 程	11月15日（水） 13：00～ 第1部 基調講演 14：40～ 第2部 パネルディスカッション 18：00～ 第3部 意見交換会 11月16日（木） 9：00～ 第4部 課題討議 11：30～ 第5部 視察「観光及び防災に関する広域連携事例」
備 考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

視察研修成果報告書

平成29年 11月 22日

議員氏名 神谷 悟 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

1 期 間

・平成 29年 11月15日（水）～11月16日（木）

2 視察先

・兵庫県姫路市

全国市議会議長会研究フォーラムIN姫路

3 視察の種類

・会派視察研修（市民クラブ）

4 視察の成果等

★目的

○私たち市民クラブは、上記の日程で全国市議会議長会に参加させていただきました。フォーラムは、全国の市区議員が一堂に会し、さらなる地方議会の機能強化をめざし、共通する課題や今後の議会のあり方について、また議員同士の連携を深めることを目的に視察を実施させていただきました。

◆第1部基調講演（第一日目午後）

「議会改革の実績と議会力の向上
—政策創造の立法部を考える—
中邨 章

◇内容

- ・議会基本条例の10年
- ・直面する課題⇒人口減少と地域振興
- ・防災と政策創造、政策チェック
- ・電子政府への試み

◆第2部パネルディスカッション

「議会改革をどう進めていくか」

◇内容

- ・議会改革を議会の中だけで終わらせないために

全国市議会議長会IN姫路



- ・ 議会改革をどう進めていくか
- ・ 議会基本条例と議会改革の展望
- ・ 姫路市議会の現状と今後の方策

◆ 課題討議 (第2日目午前)

「議会基本条例のこれまでと
これからを考える」

◇ 内容

- ・ 市民意見を起点とした政策サイクルとその成果について
- ・ 議会基本条例の制定への想い（議会のあるべき姿の実現に向けて）
- ・ 議会基本条例を通じて、地方自治を考える

◆ 姫路・播磨広域連携の取り組みについて (第2日目午後)

- ・ 姫路市防災センター視察
- ・ 宍粟市庭田神社視察
- ・ 宍粟市老松酒造視察

【所感】

〈基調講演〉

予想される人口減少に対して、各自治体の今後の取り組みなどお聞きし、持続可能な市政運営をするためには、今は何をすべきであるのかを考え、施策を進めていくことの重要性を再認識しました。

〈パネルディスカッション・課題討議〉

各議会は、議会基本条例を策定し議会改革を進めていますが、しかしながら、市民の意向を酌み取り、執行機関に対する監視や政策提言等を行うといった、議会本来の役割に対する市民からの信頼を高めるためには、議会改革の取り組み内容を検証し、必要な見直し不断に行っていく必要性を理解しました。

〈姫路・播磨広域連携の取り組みについて〉 8市8町

姫路・播磨広域連携の取り組みについて視察を実施。目的は、今後30年で総人口が約20%減少すると予想される中で、市町が団結し、大都市への人口流出に歯止めをかけるために行っている施策でありました。主な取り組み内容は、広域観光事業、企業誘致、図書館相互利用促進事業などを実施。現在、本市においては、観光事業にて、4市と共同して竜の子街道プロジェクト事業を行っており、協同して地域が活性化することや費用対効果や経費削減につながる可能性がある事業においては今後、連携を深めていく必要があると感じました。

今回の2日間の研修、本当にありがとうございました。

神谷 悟

全国市議会議長会会場



愛媛市防災センター視察風景



会派視察研修報告書

平成 29年 11月 28日

議員氏名 杉浦 文俊

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 平成 29年 11月 15日（水）～平成 29年 11月 16日（木）
- 2 視察先 兵庫県姫路市（全国市議会議長会研修フォーラム）
- 3 視察の種類 市民クラブ会派視察
- 4 視察の成果等

《全国市議会議長会研修フォーラムを受けて》

- ・毎年行われる全国市議会議長研修フォーラムに参加した。毎年テーマは変わるが、今回は、全国に先駆けて北海道栗山町が議会基本条例を制定し10年が経過することもあり、「議会改革」が主なテーマであった。議会基本条例を制定した市は、平成23年の19.5%から平成27年には54.6%と大きく伸びてはいるが、制定することが目標となり、中身が追い付かず、市民の議会に対するイメージはそれほど改善していないように感じるとの説明があった。しかしながら、基本条例があることで、心構えをつくる事ができ、改革が目に見えて市民に説明する事ができる。碧南市は制定後、議会の見える化に努めている。例えば、議会HP作成、本会議のインターネット中継、大型ディスプレイ導入による分かりやすい議会、政務活動費の公開等、開かれた議会を目指している。審議や情報公開は、可決後の結果の報告が多く、関心の薄い方にも情報が届くように、今まきに行っている時に情報の公開ができればと感じる。また、今回参加したフォーラムでは、他市の活動についても実施内容を聞くことができた。会津若松市議会では、市民意見交換会時にでた意見をそれぞれの常任委員会に委託し審議をしている。伊万里市議会では、定例会後に正副委員長がケーブルテレビを使った広告中継をしているなど、議会で試行錯誤し制定後も見える化に向かって取り組んでいる。碧南市議会としても今後も、他市を分析しつつ、市民が身近に感じる議会を目指していきたい。



《観光及び防災に関する広域連携視察について》

- ・二日目、視察コースとなっている観光及び防災に関する広域連携事例視察に参加した。防災では、ひめじ防災プラザ、観光面では、宍粟市の日本酒産業として老松酒造、庭田神社へと赴いた。宍粟市では老松酒造と山陽盃酒造の酒蔵があり、老松酒造は240年を超える老舗で酒蔵である。また、庭田神社では1300年前、日本で初めて麴（こうじ）を使って日本酒を作ったといわれた場所である、姫路や宍粟を含む播磨地域では日本酒の最高級原料米「山田錦」の生産量が全国一位というストーリーをもちこみ、観光名所として町おこしをしていた。平日という事もあり観光客はいなかったが、月に一度、酒造巡りバスツアーを実施し、京阪神から参加する方もみえ、地域にあるものを使った賑わいづくりを行っていると感じた。議会も協力し、平成25年には日本酒による地域活性化条例を制定し、地域振興に取り組んでいる。碧南市では、近隣4市で連携し竜の子街道プロジェクトに取り組んでいる。醸造をはじめとする地域資源が共通にあるため、ストーリー性を持たせた新たなる観光名所となるように取り組む為にも、4市議会間でも連携する必要があると感じられる。ひめじ防災センターは、見る・知る・体験する事で万一の時に備える事が出来るよう、防災の知識と技術を学習することが出来る施設である。中には、煙の中の避難体験コーナーや地震直後の街並みを再現したコーナー、子ども達が興味を引くであろう消防士体験コーナーなどがあり、ライフラインが止まる大災害時には、自助、共助が重要になり、いかに自分の命を守るか考えることが出来た。

